



ぽこあぽ通信 2018年2月号
No.2



矢知性の土台として、秩序があると言われてます。
今回は、矢知性と秩序の大切さについて
お話していきます。。。。

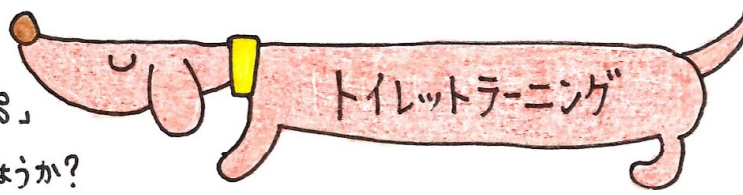
子どもは、まず区別をします。そして区別して、同じもの同士を集めたり、並べたり、比べたり、合わせたり... など。
この子どもの行動力の中に矢知性があります。矢知性の働きとは『区別する(分類)』こと。そして区別して分けたものを『集める(集合)』『比べる(比較)』『合わせる(対応)』ことです。その矢知性が、宇宙の果てまで矢知りたいエネルギー。
矢知的な好奇心の原動力になっているのです。だから、矢知性の働きが活動の中にあると、子どもの活動は自発的に続きます。これは生物学的なエネルギーとはちがって、矢知的なエネルギーを使うのです。大人にとっては何の意味もないような事であっても、夢中になっている時こそ、子どもが「矢知性を働かせている」のです!! そこで、自発的に矢知性を働かせていく土台となる「秩序」が大事です。0~3歳頃までの子どもは、秩序に特別敏感な時期です。

「秩序」とは...
◎ いつもある場所に置く、必ず元あった所に戻す (= 場所)
◎ いつもの順序にする (= 順序)
◎ 持ち主をはっきりさせる (= 所有物)
◎ いつものやり方で行う (= 習慣)
これらの秩序感が
次の3~6歳の段階への
矢知性を働かせる土台
になっています。

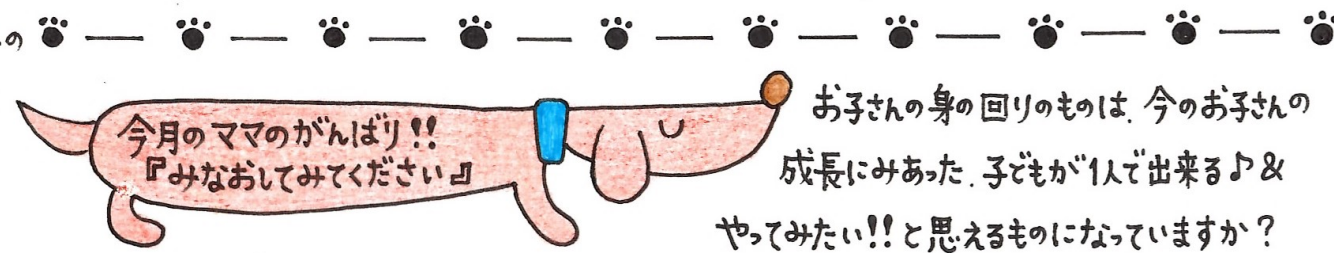
秩序感とは、生まれて間もない小さな子どもが自分の周りの環境を理解するための羅針盤のようなものです。
自分の位置を矢知ろうとしている時に、周りの場所・順序・所有物などが、いつもと同じであることが、とても大切なのです!!
日々の秩序を大事にすることで、子どもは1日の流れを分かって、安心して、自由に動くことができるようになります。それが、
自発的に矢知性を働かせていく土台となります。実際には、大人の生活が優先になってしまい、なかなか実践でき
なかったり、毎日、同じようにきっちりやり切るのには、とても力がいりますが、日本でも「三つ子の魂百まで」と言うように、
大人主導の時間帯や仕様を送っていると、子どもにとっては、それが「一生の正しい秩序」となってしまう。
子どもの自発的な活動の原動力の矢知性を十分に発揮できるように、ご家庭でも「秩序」を大事にしてください。
きちんとした秩序は、子どもだけでなく、大人もとても気持ちの良いものですよ!

子どもは、はじめの2,3年で将来を左右するような影響を受けます。だからもしも3歳までに適切に扱われるなら、その子の理想的な原型ができあがります。ところが、環境や扱い方が最初の3年間の生命力を削げるなら、さまざまな欠点を身につけさせることになるのです。 ~モンテッソーリの言葉より~

「トイレトレーニング(排泄時に絡むトイレの使用に慣れる言川練)なかなかうまくいかなかった」と、
と、やきもきされている方も多いのではないのでしょうか?



子どもが自分で排泄の自立を学んでいけるように、モンテッソーリ考教育では、トイレトレーニングのことを、「トイレトレーニング(排泄の学び)」とよびます。大人が適切な時期に適切な関わりをする事で、「自分で育つ力」を持つ子どもたちは、自ら排泄のコントロールを学んでいくのです。トイレトレーニングは、ただ「トイレで排泄できるようになる」だけではなく、子どもの発達において、もっと深い意味があります。まず、オムツから解放された子どもたちは「運動の自由(=子どもが思うように動きやすいこと)」を獲得します。
オムツは、大人にとっては、非常にありがたい便利なアイテムですが、子どもにとっては、決して履き心地の良いものではありません。やはり窮屈でかさばるオムツよりも、薄くて柔らかいパンツの方が動きやすいのです。
・自分の体を自分でコントロールすること
・自分の意志でトイレに行って排泄すること
・排泄した後に、自分でパンツや衣服を履くこと
この排泄の自立は、
精神面でも、大切な意味を持ちます。
「精神的な自立」につながります。
排泄は、毎日何度もくりかえし行われます。そのたびに大人の手を借りることなく、一人で連日の動きをやり遂げることができたのなら... 子どもの内面に、大きな自信が育まれることでしょう♡



- お子さんの身の回りのものは、今のお子さんの成長にみあった、子どもが一人で出来る♪& やってみたい!! と思えるものになっていますか?
- ① 衣服の形状や持ち物は、お子さん自身でしやすいものですか?
 - ・ デザイン重視ではなく、長さ・大きさ・伸縮性(ゴム・生地)・ジッパーの硬さ・マジックテープの強さ
 - ・ 柔らかすぎて芯がない、フリルが多すぎる、スルスルして手がかりが持てない etc... は、不向きです。
 - ② 片付けが子どもにとって明確にわかりやすいですか?
おもちゃが多すぎて片付けにくいです。全部を箱に投げ込んで片付けていませんか?
 - ③ 革靴の脱ぎ履き・そろえる・着替え・トイレ → やる・やらないではなく、毎日・毎回少しずつ!!
いきなり全部は子どもはできません。行きつ戻りつをくり返し、日々積み重ねていきましょう。